

1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本

<テーマ設定理由>

〇キッズタウンむかいはら保育園にはクラスの本棚の他に絵本コーナーが3ヶ所があり、特に2階の絵本コーナー（30㎡）には、子どもが自由に好きな絵本を選べる環境を作り『絵本』に力を入れている。

『絵本』を通して興味関心を広げたり、調べたいという探求心、物語からの表現力や情緒など感情について、文字や言葉の獲得など成長には欠かせないツールのため、子ども達の絵本好きをより深めたり、いつでも読みたい絵本コーナーの作製を行う。

〇板橋区が『絵本のまちいたばし』として絵本に力を入れており、毎月図書館の読み聞かせや区からの各家庭に赤ちゃん絵本の配布など子ども達は絵本にふれる機会が多く保育園でも開設当初から絵本に力を入れ大切にしてきた。改めて子ども達、職員共に絵本について考える機会にする。

<内容>

〇子ども達中心に新しくデザインした絵本コーナーにすることでより絵本を好きになったり、家具や絵本の変化によりわくわくな発見を高めたり、発見を次に生かし良いものに変化を続ける様々な検討を続けていくことで空間にどんどん良いものする。

〇絵本について子ども達一人ひとりやみんなで色々なアプローチで考えたり、共有したり、表現したりしていく中で絵本について深く探求する機会をつくり絵本を通しての心身の成長につなげたり、絵本を読み解き表現や製作等に生かしていく。

2. 活動スケジュール

①あたらしい絵本コーナーどうやって使おうかな

今までの話し合いで子ども達から出た設置したい家具や物、空間などを絵本コーナーに設置し環境を整え、クラスごとや異年齢で絵本コーナーを使う中で子ども達の様子を観察する。

②だいすきなえほんをみんなに紹介

昨年から今まで以上に絵本について子ども達と考えたり、絵本に触れる機会が増えてきたので、子ども達からも「この絵本おもしろいよ」、「これみんなで読もう」などお互い絵本を紹介したり、自分の好きな絵本をみんなに伝える姿が見られていて、その気持ちを大切に、他のクラスや保護者にも伝えるように絵と文字で『ぼくのわたしのおすすめ絵本』として紹介できるコーナーを作成する。

③絵本コーナーを綺麗に使おう

靴を脱ぎ芝生コーナーを作ったが上履きの脱ぎ方や靴箱の入れ方が雑然としているのでその改善を子どもたちから提案、制作してもらう。

④絵本を作ってみよう

絵を描くことも大好きな年長の子も達 1 枚の紙にいろいろな物語を込めて描いているので絵を描く紙を冊子状にし、オリジナルの物語や絵本を作成し、全体へ読み聞かせや発表、披露する場面つくる

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

⑤絵本を作ってみよう

絵を描くことも大好きな子ども達 1 枚の紙にいろいろな物語を込めて描いているので絵を描く紙を冊子状にし、オリジナルの物語や絵本を作成し、全体へ読み聞かせや発表、披露する場面つくる

- ・コピー用紙（A4）を半分に切り、10枚、20枚の束にして冊子を作る
- ・クレヨン、色鉛筆、ペン
- ・完成した絵本を他の子にもみて読み聞かせができるようにカメラ、プロジェクター

4. 探究活動の実践

（活動内容）

好きな絵を描いて絵本を作ってみよう。

自分の考えた物語を絵や文字で表現しまとめて他の友だちに見てもらう。

（活動中の子どもの姿、声、子ども同士や保育士とのやり取り）

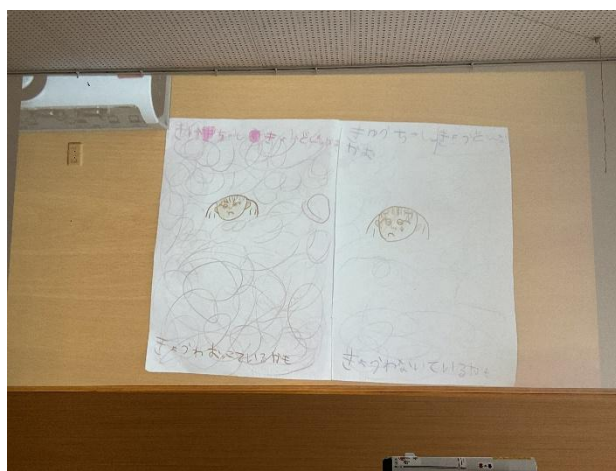
保育園幼児クラスの子も達には道具箱がありクレヨン、糊等を個人管理しており令和 6 年度よりコピー用紙（A4）を 2 つに切り、10 枚ずつまとめて冊子の状態にして 1 冊ずつ個人で棚にて管理し、全ページ書き終わると次の冊子と交換する描いた絵を大切に作る取り組みをしていた。今年度の年長児は好きな絵を描く中で次のページにも同じキャラクターを使って使ったり、絵にストーリーを持たせる姿が見られ、1 冊書き終わったものを見せてもらうと絵本のようにっており、「絵本みたいだね」と声を掛けると子ども達は「もっと作るね」「〇〇ちゃん一緒に作ろう」など創作意欲や友達と共同で作成する様子があり『絵本』というワードを使ったので絵だけでなく「字も書いて物語作る」など話しているグループがあった。

作成をし始めると子ども達は「途中だから見ないで」「完成まで秘密」など担任に話していた。

数ページはすぐに描いていたがその後、ストーリーを続けて描いていくのは難しいのか止まってしまう子も多く、少し期間が空いて続きを書くようなペースだった。様々な行事が終わり少し落ち着くと完成させたい子ども達のギアが入り、数日で描き上げていた。出来上がったものはサイズが小さく他の子に見せるのは難しかったので書画カメラを用意し手元でページをめくりながら絵本の読み聞かせを行う。「恥ずかしい」「一人じゃ無理」と言っている子も多かったが先生や友達と一緒に前に立つと勇気が出たようで行うことができた。

作ったお話も繰り返しのフレーズがある絵本やみんなが知っているキャラクターをかいて面白い話にするなどたくさん絵本を読んできた子ども達だからこそ様々なイメージが浮かんでいた。

(写真)



(振り返り 気づき)

沢山絵本を読んできて描きたい内容はあったり、絵は上手だが話はちょっとなど様々な子ども達の様子が見られ1人では完成できなくても協力して作る姿やたくさん読んできた絵本と同じような流れで作るなど工夫があり絵本をテーマに色々なアプローチをしてきたことが良かった。

年長児は1年間を通して色々な行事がある中だったので負担があったかもと職員側は思っていたが子ども達はそんなそぶりもなく楽しんで製作を行っていた。忙しくても子ども達は今まで絵本の体験を多くしてきたので『楽しい』に繋がったと思う。